

こどもにすすめたい本 2025



『トドにおとどけ』
大塚 健太／作 かとう かりん／絵
パイ インターナショナル

山梨県内の図書館員が、昨年1年間に出版された図書の中から
「こどもにすすめたい本」110冊を選びました。

山 梨 県 立 図 書 館
山 梨 県 公 共 図 書 館 協 会



『いえができるよ』

パイロン・バートン／さく ながわちひろ／やく
 好学社 ¥1,650 (税込)

緑の原っぱにブルドーザーで穴を掘り、板を埋め込み、セメントを流す。床や壁を作り、水道や電気の工事をして、だんだんと家ができて上がる。私たちの家ができるまでの工程を、色鮮やかな絵とわかりやすい言葉で、シンプルに描いた絵本。



『おせち』

内田有美／文・絵 満留邦子／料理 三浦康子／監修
 福音館書店 ¥1,100 (税込)

「おせち」は、今年も良い一年になるようにというみんなの願いが込められた、日本の伝統料理。写真と見まちがえるほど美しい絵とともに、それぞれの料理のいわれをリズムカルに伝え、日本の豊かな食文化をわかりやすく紹介する。



『じゅんばんじゅんばんじゅんばんですよ』

accototo／さく
 大日本図書 ¥1,650 (税込)

桜の花びらがそっと触れると、サナギはチョウになり空に飛び立つ。チョウが降りたタンポポの綿毛が空に消えると、季節は静かに夏に近づく。「じゅんばんですよ」の言葉のバトンで四季は巡り、その美しさやかけがえのなさに気づかされる。



『たいせつなたまご』

キッチンミノル／著
 白泉社 ¥1,320 (税込)

にわとりは、1日1個しか卵を産まない。この「たいせつな」おいしい卵を産む健康なにわとりたちを、たくさんのスタッフが手をかけて育てる様子や、産まれた卵がお店に並び、食卓に届くまでを学ぶことができる写真絵本。



『だっこだっこらっこ』

ねこしおり／文 植垣歩子／絵
 アリス館 ¥1,265 (税込)

「ママ、だっこー」と小さな男の子が叫ぶと、「ぼくのこと よんだ？」と、らっこが登場。男の子が「だっこー！」と叫ぶたびにいろいろな動物が現れ…。繰り返しのリズムが楽しい、言葉遊びの絵本。0歳から3歳におすすめの一冊。



『たれてる』

鈴木のりたけ／作
 ポプラ社 ¥1,210 (税込)

ドーナツにチョコレートをたっぷりかけたら、「あれ ちょっと かけすぎじゃない?」「あーもう! たれてる たれてる」。垂れたチョコレートはどこへ行く?親子で一緒にドキドキしながらページをめくり、次の展開を楽しめるユニークな絵本。



『なっちゃんがちっちゃかったころのおはなし』

鍋田敬子／さく
 福音館書店 ¥1,100 (税込)

なっちゃん、お母さんから自分が小さかった頃の話聞くのが大好き。「ピカピカまめっこ」のように小さく小さく生まれたなっちゃんは、両親と兄たちに愛されながら、だんだんと大きくなり…。ユーモアあふれる、温かみのある絵本。



『りんごりらっぱ』

あべけんじ／作
 福音館書店 ¥1,100 (税込)

りんごとりら、つなげて読むと、りんごりら。ラッパもつなげて、りんごりらっぱ。パンダもつなげると…?しりとりをしながら言葉をつなげて遊ぶ、言葉遊び絵本。ステンシル版画で描かれた、温かみのあるかわいいうち絵も魅力的な一冊。

★ その他のおすすめの本 ★

『うまうまあーん!』

エヴァ・モンタナリー／さく まつかわまゆみ／やく 評論社 ¥1,540 (税込)

『おかおあろうのみーせて』

もりといずみ／作 きくちちき／絵 講談社 ¥1,430 (税込)

『おちば』

おーなり由子／ぶん はたこうしろう／え ほるぷ出版 ¥1,650 (税込)

『くらくてふかいもりのおく』

デルフィーヌ・プルネ／作・絵 ふしみみさを／訳 ひさかたチャイルド ¥1,430 (税込)

『ケーキ』

小西英子／さく 福音館書店 ¥990 (税込)

『しごとのもよう』

三浦太郎／作 偕成社 ¥1,870 (税込)

『すごいぜほんのちからって!』

ディエイレヴィ／ぶん ロレンツォ・サンジョ／え はつめちよこ／やく イマジネーション・プラス ¥1,870 (税込)

『チューリップさいた』

くすのきしげのり／作 よしむらめく／絵 Gakken ¥1,650 (税込)

『トドにおとどけ』

大塚健太／作 かのうかりん／絵 パイ インターナショナル ¥1,540 (税込)

『なんのくるまにのるのかな?』

小輪瀬護安／さく 福音館書店 ¥990 (税込)

『にじ』

武田康男／監修・写真 小杉みのり／構成・文 岩崎書店 ¥1,430 (税込)

『ねえだっこ』

柿木原政広／作 ブロンズ新社 ¥1,210 (税込)

小学生(低学年)向け



『きみは、ぼうけんか』

シャルガード・シャルジェルディー/文 ガザル・ファトゥラヒー/絵 愛甲恵子/訳
ブロンズ新社 ¥1,540 (税込)

戦争で家族の思い出が詰まった家が壊された。兄は幼い私を「ぼうけんかになりたくない？」と誘う。戦火から逃げるために街を出て、馬よりも速く走り、外で眠り、海を越える。難民となった幼い兄妹が、支え合いながら強く生きる姿を描く。



『クジラがしんだら』

江口絵理/文 かわさきしゅんいち/絵 藤原義弘/監修
童心社 ¥1,980 (税込)

長い一生を終えて海の底に沈んだクジラ。その体は、深海の生き物たちにとっては久しぶりのご馳走！クジラの死骸に集まり肉を食べる。残った骨の中まで食べ尽くされると…。『鯨骨生物群集』をテーマに、命の繋がりと深海の神秘を描く。



『こてんちゃんかきた！』

いとうみく/作 かのうかりん/絵
理論社 ¥1,430 (税込)

背中に羽、手にうちわ、足元は下駄、ちょっと偉そうな態度。僕たちのクラスに来た転校生こてんちゃんは、少し変わっているが、意外と素直なところが憎めない。一緒に過ごすうちに僕は…。人と違っていても大丈夫と、心が軽くなる。



『しょうぼうじどうしゃのあかいねじ』

たるいしまこ/作
福音館書店 ¥1,100 (税込)

さとの宝箱の中にあった、消防自動車の赤いねじが羨ましいひかる。さとの父が勤める工場で、白い車にポンプやはしごを取り付けて赤く塗り、消防自動車が完成するまでの様子を見学する。赤いねじは一体どこに使われているのだろうか？



『シロツメクサはともだち』

鈴木純/著
ブロンズ新社 ¥1,540 (税込)

道を歩いていたら、シロツメクサに呼ばれた。「わたしたちのこと、ほんとうによく知ってる？」まん丸に見える花は、実は細長い小さな花が集まってできている。種や、葉の模様や形など、身近なシロツメクサの不思議を紹介する写真絵本。



『そらのいろ』

荒木健太郎/文・写真・絵
金の星社 ¥1,540 (税込)

空の色は、時間帯や空気中のチリ、湿気などによって変化する。太陽が地平線に沈み、空がうす明るい「薄明」の時間には、空の色は刻々と美しく変わっていく。美しい空の写真とともに、空の色の仕組みをわかりやすく解説する科学絵本。



『パインさんのごちゃませかんばん』

レオナード・ケスラー/さく 小宮由/やく
大日本図書 ¥1,540 (税込)

町長から、町中全ての看板の作り替えを頼まれた看板屋のパインさん。眼鏡が見当たらず、ぼんやりしか見えない中で看板を取り付けると、全ての看板がごちゃませに付き、町は大混乱に…。小学校低学年の一人読みにぴったりの楽しいお話。



『ペンギンゆうゆ』

萩原智子/さく うよ高山/え
文芸社 ¥1,650 (税込)

夜の水族館で、年に一度のペンギンたちの水泳大会が開かれた。ゆうゆは1位になったテンテンに憧れ、アシカやカエルなど水族館のみんなにアドバイスをもらいながら練習に励む。元競泳日本代表の著者が、泳ぎのコツもわかりやすく伝える。

★ その他のおすすめの本 ★

『「歩」が「と」に大へんしん！』

川北亮司/作 藤本四郎/絵 汐文社 ¥1,650 (税込)

『おなじところちがうところ』

新井洋行/作 獄まいこ/絵 くもん出版 ¥1,540 (税込)

『きこえないこえ』

内田麟太郎/作 竹上妙/絵 佼成出版社 ¥1,540 (税込)

『小学校の生活ずかん』

はまのゆか/絵 Gakken ¥1,650 (税込)

『ひみつのたからもの』

豊福まきこ/作 BL出版 ¥1,650 (税込)

『ひみつのとっくん』

工藤純子/作 田中六夫/絵 金の星社 ¥1,430 (税込)

『ぼくのカキだよ！』

市川里美/作 BL出版 ¥1,650 (税込)

『ぼくのねごぼー』

岩瀬成子/作 松成真理子/絵 PHP 研究所 ¥1,430 (税込)

『ほんとにともだち？』

如月かずさ/作 高橋和枝/絵 小峰書店 ¥1,430 (税込)

『まねをしました』

すずきみえ/作 下平けいすけ/絵 文研出版 ¥1,430 (税込)

『ライオンのくにのネズミ』

さかとくみ雪/作 中央公論新社 ¥1,760 (税込)

『わすれていいから』

大森裕子/著 KADOKAWA ¥1,650 (税込)

小学生(中学年)向け



『くよくよしてもしかたがない!』
ワnda・ガアグ/再話・絵 小宮由/訳
瑞雲舎 ¥1,650 (税込)

子どものころに聞いた古い古い話。畑や牧場の仕事で嫌になった百姓のフリッツルは、家の中の仕事の方が楽だと思い、妻と仕事を取り換えた。ところが何一つうまくできない。妻が家に帰ると牝牛が屋根からぶら下がっていた。いったい何が?



『四角い空のむこうへ』
由美村嬉々/文 羽尻利門/絵
晶文社 ¥1,760 (税込)

筋肉の病気のため、人工呼吸器と車椅子で生活している中学生のあきら。特技はテレビの天気予報を見ること。両親はあきらの誕生日に、彼が寝ている居間に天窓を付けてくれた。天窓から空を見ながら、あきは気象予報士になる決心をする。



『世界ではじめての女性大統領のはなし』
ラウン・フリーゲンリング/作 朱位昌併/訳
平凡社 ¥2,090 (税込)

世界で一番男女間の平等が進んでいるアイスランドも、かつては女性への偏見があった。作家志望の少女のインタビューを通して、世界初の女性大統領となったヴィグディス・フィンボガドッテイルの人生を、ユーモアあふれる絵とともに描く。



『飛べ! 山小屋ヘリコプター』
池田菜津美/文 星野秀樹/写真
新日本出版社 ¥2,860 (税込)

標高3,080メートルにある槍ヶ岳の山小屋には、夏から秋にかけて大勢の登山者がやって来る。荷物を運べる道はなく、必要な食べ物や燃料などは、ヘリコプターで運んでいる。山小屋の生活を支えるヘリコプターの活動を写真で紹介する。



『ねえねえ、なに見てる?』
ビクター・ベルモント/絵と文 金原瑞人/訳
河出書房新社 ¥1,793 (税込)

ほかの人と色の見え方が違うトーマス。食卓を囲む家族には、周りがどのように見えているのが想像すると…。まだ小さい弟にはなんでも大きく、科学者のママには科学的に見えているのかも。多様性と他者理解を描く、ラサリーリョ賞受賞作。



『はたらく中華料理店』
吉田亮人/写真 矢萩多聞/文
創元社 ¥2,420 (税込)

写真家の吉田亮人さんの両親が夫婦二人で営む中華料理店は、40年間多くのお客さんに何万皿もの料理を作ってきた。朝早くから仕込みや掃除をして、開店すると店の奥の厨房で次から次へと料理を作る。小さな中華料理店の一日を追う写真絵本。



『ひき石と24丁のとうふ』
大西暢夫/著
アリス館 ¥1,760 (税込)

岩手県奥の山奥で豆腐屋を営むミナさん。幼いころから目が不自由だが、90歳をこえても、一人でひき石(石臼)を回して大豆を挽き、薪で煮て、一日に24丁の豆腐を作る。手仕事で作る職人の感覚の鋭さや、日々の営みの尊さを伝える写真絵本。



『モモ 絵本版』
ミチャエル・エンデ/文 ソモナ・チェッカレリ/絵 松永美穂/訳
光文社 ¥1,980 (税込)

町はずれにある野外劇場の廃墟に住んでいる小さな女の子、モモのところに、たくさんの人たちが会いに来る。それは、モモが「ほかの人の話を聞く」ことが誰よりも得意だったから。児童文学の名作ファンタジー『モモ』の第一部を絵本化。

★ その他のおすすめの本 ★

『あこがれの図書館』
パトリシア・ポラッコ/作 福本友美子/訳 さ・え・ら書房 ¥1,870 (税込)

『あの日のあなた』
中川なをみ/作 大野八生/絵 くもん出版 ¥1,650 (税込)

『すごいトイレのはなし』
佐藤満春/著 伊藤ハムスター、萩原まお/絵 Gakken ¥1,650 (税込)

『たい焼き総選挙』
新井けいこ/作 いちろう/絵 あかね書房 ¥1,430 (税込)

『たった2℃で…』
キム・ファン/文 チョン・ジンギョン/絵 童心社 ¥1,980 (税込)

『たまご』
ドーリング・キンダースリー社編集部/企画・編集 水島ばざい/訳 BL出版 ¥2,970 (税込)

『動物の義足やさん』
沢田俊子/文 講談社 ¥1,650 (税込)

『ともに生きる』
前川貴行/写真・文 あかね書房 ¥1,650 (税込)

『鳥がおしえてくれること』
鈴木まもる/作 あすなろ書房 ¥1,760 (税込)

『ぼくたちのことをわすれないで』
由美村嬉々/作 鈴木まもる/絵 佼成出版社 ¥1,650 (税込)

『まほうのマーマレード』
茂市久美子/作 ゆうこ/絵 あかね書房 ¥1,320 (税込)

『モジモジばあは、本のおいしゃさん』
仁科幸子/作 文溪堂 ¥1,540 (税込)

小学生(高学年)向け



『石は元素の案内人』

田中陵二／文・写真
福音館書店 ¥1,430 (税込)

「この世界のすべてが、たった90種類の『元素』の組み合わせでできている」ことを、鉱物や岩石を通して紹介。身近にある塩から、赤鉄鉱や孔雀石など珍しい鉱物まで、美しい写真とともに実験を交え解説する。化学への興味を誘う写真絵本。



『命をつないだ路面電車』

テア・ランノ／著 関口英子、山下愛純／訳
小学館 ¥1,650 (税込)

第二次世界大戦中のイタリア。ドイツ軍がユダヤ人居住区に住む人々を強制連行する中、一人の少年が路面電車の中に逃げ込んだ。希望を失わずたくましく生きた少年と、危険をかえりみず彼を救おうとした人々の実話を基にした物語。



『ジョイフルジョブ!』

齊藤洋／作 酒井以／絵
あかね書房 ¥1,430 (税込)

野球少年だった仁が、美容師への道を歩み、夢を叶えるまでを描く仕事ノンフィクション。進路選択や資格取得、就職してからの苦労やキャリアアップなど、美容師の仕事がまるごとわかる。巻末には美容師になる方法やアドバイスを掲載。



『中国のフェアリー・テール』

ローレンス・ハウスマン／作 松岡享子／訳
福音館書店 ¥1,870 (税込)

画塾の下働きの少年ティキ・プーは、芸術を愛し、絵を描くことを渴望していた。少年は思いもよらぬ方法で、300年前の偉大な画家から教えを受け、素晴らしい画家に成長していく。訳者の松岡享子さんが、特別な思いを込め語ってきたお話を書籍化。



『ぼくの色、見つけた!』

志津栄子／作 末山りん／絵
講談社 ¥1,650 (税込)

小学5年生の信太郎は色覚障がいがあり、日常生活で色が区別できずに困ることがある。「教室で弱みを見せていい」という担任の先生の言葉や、ゴッホの絵「星月夜」との出会いをきっかけに、信太郎は徐々に個性を出し、変わっていく…。



『見えない壁だって、越えられる。』

高橋うらら／文
金の星社 ¥1,650 (税込)

パラクライミング世界選手権金メダリストの小林幸一郎さん。28歳の時に目の難病になり視力が低下したが、視覚障害者にクライミングの楽しさを伝えたいと挑戦を続ける。目の前にある壁を乗り越えた彼の人生を描くノンフィクション。



『ルビーの一步』

ルビー・ブリッジズ／著 千葉茂樹／訳
あすなろ書房 ¥1,430 (税込)

1960年、アメリカで初めて白人専用の小学校に入学した黒人のルビーは、護衛に守られながら登下校した。通学に抗議する人々が毎日やってきたことや、学校での出来事、家族への影響など、当時の写真も多用し、ルビーから見た人種差別を描く。



『わたしの名前はオクトーバー』

カチャ・ペーレン／作 こだまともこ／訳
評論社 ¥1,760 (税込)

オクトーバーは森の中で父と暮らしていたが、11歳の誕生日に事件が起き、都会で母と暮らす生活に一変。彼女の頑なに閉ざっていた世界が、社会との繋がりにより明るくなっていく。家族の再生とオクトーバーの成長の物語。

★ その他のおすすめの本 ★

『うんこ虫を追え』

館野鴻／文・絵 福音館書店 ¥1,430 (税込)

『おおなわ跳びません』

赤羽じゅんこ／作 マコカワイ／絵 静山社 ¥1,540 (税込)

『おとうとのねじまきパン』

高橋うらら／著 合同出版 ¥1,760 (税込)

『空気を変える』

デビー・リヴィ／文 アレックス・ボーズマ／絵 宮坂宏美／訳 あすなろ書房 ¥1,870 (税込)

『こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。』

岩貞るみこ／文 サタケジュンスケ／イラスト 講談社 ¥1,650 (税込)

『ジャングルのチョコレート工場』

横山亜未／著 ポプラ社 ¥1,980 (税込)

『すごすぎる絵画の図鑑』

青い日記帳／著 川瀬佑介／監修 KADOKAWA ¥1,430 (税込)

『スラムに水は流れない』

ヴァルシャ・バジャージ／著 村上利佳／訳 あすなろ書房 ¥1,760 (税込)

『世界の納豆をめぐる探検』

高野秀行／文・写真 スケラッコ／絵 福音館書店 ¥1,430 (税込)

『せっかちなハチドリ』

安東みきえ／作 降矢なな／絵 文溪堂 ¥1,760 (税込)

『ひとつだけ守りたいもの』

リンダ・スー・パーク／作 ロバート・セーベン／絵 佐藤淑子／訳 玉川大学出版部 ¥1,980 (税込)

『みおちゃんも猫好きだよ?』

神戸遙真／作 金の星社 ¥1,650 (税込)

中学生・高校生向け



『あなたの言葉を』

辻村深月／著

毎日新聞出版 ¥1,540 (税込)

子どもの頃、他の子に笑われないようにみこんだ言葉やうまく言葉にできなかった感情は、大人になると言語化でき「あなたの言葉」になる。「あなたの言葉」探しを手助けする、まっすぐで温かい言葉が詰まったエッセイ集。



『絵画をみる、絵画をなおす保存修復の世界』

田口かおり／著

偕成社 ¥1,760 (税込)

美術作品の修復家という一般的に知られていない職業を志した経緯や、作品がどのように作られたか観察・調査し修復する仕事の内容をわかりやすく解説している。美術作品を未来につなぐ修復の世界の魅力と、田口さんの情熱が伝わる一冊。



『カキじいさん、世界へ行く!』

島山重篤／著

講談社 ¥1,650 (税込)

気仙沼湾でカキの養殖に取り組む島山さんが、世界のカキ養殖の現場を訪ねたルポルタージュ。フランスで川の上流にある広葉樹の森が海の生物を育てると気づき、山の植林「森は海の恋人運動」を始めたことなどを、詳しく紹介している。



『カラフル』

阿部暁子／著

集英社 ¥1,760 (税込)

伊澄は高校の入学式の朝、ある騒動をきっかけに車椅子ユーザーの六花と出会う。初めは気の強い六花に戸惑うが、徐々に互いを知り、強歩大会で同じグループになり…。中学時代に挫折を経験した少年少女の、成長の物語。

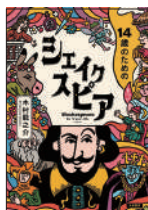


『地べたから考える』

ブレイディみかこ／著

筑摩書房 ¥1,320 (税込)

英国で暮らす著者が関心を寄せる社会問題や、貧富・人種の差にみる階層社会をテーマにした15篇のエッセイ集。息子の学校生活や配車サービスなど身近な例を挙げ、日本とも比較しつつ、「地べた(足がしっかりと地に着いた)」からの視点で描く。



『14歳のためのシェイクスピア』

木村龍之介／著

大和書房 ¥1,760 (税込)

誰もが一度は名前を聞いたことのある英国の劇作家、シェイクスピア。「ロミオとジュリエット」や「ハムレット」など数多くの作品が今も人々を魅了する。シェイクスピアを研究し、作品の演出も手掛ける著者が、魅力を惜しまず伝える。



『タコのなぜ』

池田譲／著

講談社 ¥1,980 (税込)

「海の賢者」ともいわれるタコについて、大学で研究している著者が88個の謎をわかりやすく解説する。「タコには脳が9つある?」「タコの死因はふたつだけ?」など、読んだら人に教えたくなるタコの不思議が満載。タコの秘密に迫る一冊。



『中学生からの絵本のトリセツ』

川口かおる／著

岩波書店 ¥1,595 (税込)

アートとして絵本を飾る、推しの絵本を見つける、「イライラ、モヤモヤ」など10代の悩みに合わせたおすすめ絵本など、さまざまな角度から絵本の楽しみ方を紹介した一冊。中学生・高校生向けの約60冊の絵本を掲載。

★ その他のおすすめの本 ★

『あいだのわたし』

ユリア・ラビノヴィチ／作 細井直子／訳 岩波書店 ¥2,200 (税込)

『あなたの国では』

小手鞠るい／著 さ・え・ら書房 ¥1,650 (税込)

『いっしょに翻訳してみない?』

越前敏弥／著 河出書房新社 ¥1,562 (税込)

『AIにはない「思考力」の身につけ方』

今井むつみ／著 筑摩書房 ¥1,320 (税込)

『学校に行かない僕の学校』

尾崎英子／作 ポプラ社 ¥1,760 (税込)

『キングと兄ちゃんのトンボ』

ケイソン・キャレンダー／著 島田明美／訳 作品社 ¥2,420 (税込)

『6 days 遭難者たち』

安田夏菜／著 講談社 ¥1,650 (税込)



『注文にかかるカフェ』

大平一枝／著
ポプラ社 ¥1,980 (税込)

吃音で言葉がスラスラ出てこないが、接客業で働きたいと願う若者たちがいる。彼らの夢を叶える「注文に時間がかかる」カフェが、一日限定で、各地で開店している。開店のきっかけや、カフェで働く若者たちの様子を伝える一冊。



『光の粒が舞いあがる』

蒼沼洋人／著
PHP研究所 ¥1,430 (税込)

中学1年生の心愛は、家事が忙しい上、シングルマザーの母から交際相手との食事に誘われ息苦しい日々を送っていた。通りがかったボクシングジムでこはくに泣き顔を見られた心愛は、すっきりするからとサンドバッグを打つよう誘われる。



『本当に危ない闇バイトの話』

廣末登、芳賀恒人／監修
金の星社 ¥1,540 (税込)

10代の若者が受け子や強盗、スマホの代理購入など、闇バイトに巻き込まれた実例を漫画でわかりやすく紹介。闇組織の狙いと手口、身を守るための方法も詳細に解説している。身近な問題としてぜひ中高生に一読してほしい一冊。



『待ってる! 甲子園』

日比野恭三／著
ポプラ社 ¥1,980 (税込)

都立青鳥特別支援学校には、全国でも数少ない硬式野球ができるベースボール部がある。監督の久保田先生が、知的障がいのある子どもと野球がしたい、という強い思いで始めたのだ。甲子園出場を目指す球児と監督を描くノンフィクション。



『モネと睡蓮』

ベアトリス・フォンタネル／文 アレクサンドラ・ユアール／絵 松井文恵／訳
世界文化社 ¥3,190 (税込)

印象派の画家モネが、ジヴェルニーにある自然豊かな庭がある家で暮らし、晩年白内障を患いながらも池を描き続け、傑作「睡蓮」を生み出すまでを描いた絵本。モネの日常や人柄、庭の小さな動植物までいきいきと再現されている。



『闇に願いを』

クリスティーナ・スントーンヴァット／著 こだまともこ、辻村万美／訳
静山社 ¥1,980 (税込)

舞台は架空の街チャッター。窃盗犯の母親から産まれた少年ポンは、刑務所の外に出ることができない。自由を求めて脱獄した彼は、街の真実を知る。不公平な世界に勇気をもって声をあげる人々の姿を魅力的に描いたファンタジー。



『ヤングタイマーズのお悩み相談室』

石川宏千花／作
くもん出版 ¥1,650 (税込)

中学生と中学生が家族にいる人向けのラジオ番組「放課後の放課後」。中学生だけが応募できるお悩み相談コーナーでは、十人十色の悩みにパーソナリティーが回答する。投稿した6人の中学生がラジオを通して自分に向き合う様子を描いた小説。



『私は十五歳』

アズ・ブローマ／原案 なるかわしんご／絵 駒井知会、指宿昭一／監修
イマジネーション・プラス ¥1,870 (税込)

戦争のため本国から逃げ出してたどりついた日本で、在留資格を剥奪され、「仮放免」となった高校生が書いた作文を原案に作られた絵本。バイトも推し活もしたい、という夢を抱きながら、現実と向き合う15歳のメッセージが胸を打つ。

『選挙、誰に入れる?』

宇野重規／監修 Gakken ¥1,650 (税込)

『透明なルール』

佐藤いつこ／著 KADOKAWA ¥1,650 (税込)

『ネットでいじめられたら、どうすればいいの?』

春名風花／著 河出書房新社 ¥1,562 (税込)

『みかんファミリー』

榎月美智子／著 講談社 ¥1,760 (税込)

『もしもミツバチが世界から消えてしまったら』

有沢重雄／著 中村純／監修 旬報社 ¥1,870 (税込)

『森と、母と、わたしの一週間』

八束澄子／著 ポプラ社 ¥1,540 (税込)

『野生生物は「やさしさ」だけで守れるか?』

朝日新聞取材チーム／著 岩波書店 ¥1,034 (税込)

4月23日は「子ども読書の日」



こどもにすすめたい本 2025

令和7年3月31日

編集 山梨県立図書館 サービス課

山梨県公共図書館協会「こどもにすすめたい本」編集委員会

発行 山梨県立図書館 山梨県公共図書館協会

〒400-0024 山梨県甲府市北口 2-8-1

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

Eメール kodomo@lib.pref.yamanashi.jp



山梨県立図書館 HP

*当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。

*本書掲載の記事、イラスト、写真等の無断転載を禁じます。

*本冊子は、保育所及び教育機関（幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高校、特別支援学校）におけるプリントアウト、コピー、無料配布ができます。

改変・切除などをご遠慮ください。